

質問順位は、議会の申し合わせにより決定しています。なお、紙面は要約してありますので、詳しくは8月下旬に配置予定の会議録または市議会ホームページをご覧ください。

一般質問

登壇者と通告項目

- 青木 重 (清風会)**
税制改正、ふるさと納税制度、道路・土木行政、教育行政
- 小倉 妙子 (公明党)**
全公立学校の耐震化、子供のための教育改革、高額療養費制度、介護事業所の問題
- 大木 隆弘 (民主連合)**
南部地区スポーツ広場、学校・公園の遊具の管理、みずき地区巨大物流センター、年金問題、コムスン問題
- 中村 利久 (市政クラブ)**
都市整備、土木行政、教育行政、みずき地区の物流センター
- 松本 睦男 (日本共産党野田市議団)**
総合計画、農業施策、学校の耐震化
- 古橋喜久男 (民政クラブ)**
農政問題、高齢化対策
- 岡田早和子 (市民ネットワーク)**
福祉行政、みずきの街の物流センター建設問題、学童保育所、教育行政
- 長南 博邦 (新社会党)**
清掃行政、都市計画行政、国土施策開発調査、福祉行政
- 小俣 文宣 (清風会)**
防犯組合活動、自主防災組織、年金相談、利根運河関係、のた教育の日
- 木村たか子 (公明党)**
スポーツ拠点づくり、妊産婦健診、野田市斎場の利用、食料自給率アップへの取り組み
- 齊藤登美生 (民主連合)**
コミュニティ会館の利便性・安全性の向上策、土木・都市整備行政、野田市総合計画素案 (概要版)
- 千久田祐子 (日本共産党野田市議団)**
介護保険、環境行政、保育行政、教育行政、土木行政
- 船橋 繁雄 (民政クラブ)**
環境行政、消防行政、福祉行政、農業行政
- 中井 洋子 (市民ネットワーク)**
総合計画、特別支援教育、図書館・コミュニティ会館の指定管理者、市の側溝汚泥不法投棄問題
- 内田 陽一 (公明党)**
学校施設の整備、環境教育、スクールゾーン、洪水ハザードマップ、防災ハンドブック、環境行政

ふるさと納税制度

市長の見解は

青木 重
議員

■質問 生まれ育った市町村などに個人住民税の一部を納められるふるさと納税制度の導入方針が固まったと新聞報道にあった。自治体間の財政力格差を縮めるならいがあるようだが、地方税には身近なサービスに対する負担という基本理念がある。ふるさと納税制度はこの原則を崩しかねず、実務上の課題も山積していると思うが、市長の見解をお聞きたい。

□答弁 ふるさと納税制度は都市と地方の税収格差を背景として、納税者が個人住民税の一部を自分の出身地に納めることができるというものであるが、その実現には、さまざまな課題があるといわれている。都市と地方の税収格差を大きくした原因は、財政調整機能と財源保障機能を持つ交付税を五兆一〇〇〇億円削減したことが主である。格差の是正は国の責任において行うべきであり、交付税制度の中でできるはずであると考えており、反対を表明していくつもりである。

避難場所の選定基準とサブ避難場所の指定

小倉 妙子
議員

■質問 各地域における避難場所の選定に当たっては、避難場所までの所要時間、距離、人数を考慮され

ていると思うが、どのような観点で場所を選定しているのか。また、援護を必要とする高齢者や介護者の方々が多く居住する地域へサブ避難場所を確保する考えはあるかお聞きたい。

□答弁 避難場所の選定に当たっては、周辺の状況、地域の人口、他の避難場所との関係、安全性、避難距離、収容人数、耐震性、出入り口が確保できるかなどの調査を行っている。今回、洪水ハザードマップの作成に伴い洪水時に使用できない十九カ所の避難場所を指定から外し、新たに八カ所を追加し、計五十六カ所を風水害対応の避難場所に指定

している。地震、大規模事故の避難場所はこの八カ所を加えて計七十五カ所としている。また、サブ避難場所は指定していないが、実際の避難行動では安全を確認した上で一時的な集合場所として自治会、自主防災組織等の単位で活用していただくようお願いしている。



避難場所 (岩木小学校)

一般質問

大木 隆弘
議員

学校・公園の遊具 安全管理の方法は

■質問 最近、学校や公園に設置してある遊具での事故を伝えるニュースが目立っている。遊具の点検に

■質問 生産者と消費者、自治体や農協などがかわった地産地消の取り組みが全国的に広がっている。野田市でも特産品の枝豆を原料とした製品開発への援助やその製品の学校給食への利用など、市民のアイデアを生かした取り組みを促進すべきと考えるが見解を伺いたい。また、直売所の

については、目視調査やハンマーでたたく打音調査、また、超音波で調べているところもあると聞いている。そこで、野田市ではどのような点検を行っているのか手順や方法などについて伺いたい。

□答弁 都市公園の遊具の安全管理については、国土交通省より安全確保の指針が定められており、委託先の野田市開発協会が、毎月一回点検マニュアルに基づき遊具に応じて目視、触診、聴診、打診により腐食、変形、摩耗、破損などを確認している。また、各学校に設置している遊具の安全管理については、日常点検

や毎月安全点検の日を決めて全職員による点検を行っている。点検方法は目視、打診、聴診のほか揺り動かしやぶら下がりなど負荷を加える方法で実施している。点検の結果、必要に応じて危険箇所を明示し、使用の中止や修繕を行い危険防止のための措置を講じている。



公園遊具

関宿あおぞら広場 キャンプファイア禁止の理由は

中村 利久
議員

■質問 関宿あおぞら広場は、四月のオープン以来、子ども会活動やバーベキュー、キャンプなどに利用されている。市民が気楽に集える多目的広場と子供の健全育成のためにキャンプができる施設として大いに歓迎するところではあるが、施設内でキャンプファイアが禁止となっている理由をお聞きしたい。

□答弁 関宿あおぞら広場内でキャンプファイアを禁止した理由は、キャンプファイアブレーンを設ける

と多目的広場の利用が大幅に制限されること。また、周辺に住宅が多く建っており危険であること。さらに、かまどの火とは規模が違うので管理の方法を検討しなければならぬことによる。しかし、オープン後の利用状況を見ると多目的広場とキャンプ場の一体的な利用の中ですみ分けができると思われることから、近隣住民への説明を行いキャンプファイアが実施できるよう進めていきたいと考えている。

農産物直売所など 今後の農業振興対策は

男 睦
松本 議員

設置も含めた今後の農業振興策についても伺いたい。
□答弁 提案された特産品を生かした取り組みについては、野田市の農業にとって少しはプラスになるとは

思うが、最終的には野田市の農産物全体を差別化していかない限り、将来安心して生き残っていけないと思う。来年度船形地区に直売所をオープンし、新鮮で安

全な農産物や加工品の販売を予定している。また、もみ殻と牛ふんを活用した堆肥化の施策をどのように野田市の農業の中に当てはめていけるのか、さらに、無農薬、有機栽培を含めた農産物の産地化、差別化をどれだけできるかということについても取り組んでいきたいと考えている。



農産物直売所予定地（写真手前）



無料職業紹介所（市役所2階）

■質問 我が国の高齢者の労働力率は、総務省の調査によるとアメリカやドイツなどより上回っていることが明らかとなっている。年金の支給開始年齢が段階的に六十五歳に引き上げられると、少なくとも六十五歳までの就業機会を確保する必要があると思う。そこで、就業意欲を持っている

高齢者の再雇用やボランティアについて、市ではどのような対策を考えているのか伺いたい。

就業意欲のある高齢者に再雇用等の対策を

古橋喜久男 議員

■答弁 高齢者の再雇用対策については、無料職業紹介所においてハローワークの求人情報の提供や求職者の相談に基づき事業者訪問をきめ細かく行い、隠れた求人情報を発掘している。さらに、市独自の施策とし

て雇用促進奨励金交付規則に基づき高齢者、障害者、ひとり親を雇用した事業主に奨励金を交付し再雇用を支援している。また、ボランティアについては、社会福祉協議会にボランティアセンターを設置し、活動をおっせんするとともに市庁舎ロビーにボランティア情報を掲示している。

を巻き上げ、江戸川下流に悪影響を及ぼす可能性がある。その対応策として、流れを緩やかにするための調整池の設置や、最下流の江戸川の出口付近に水循環施設を設置することが考えられるが、これから具体的に詰めていくことになるかと考えている。

委託事業者選定委員会 市側と保護者を同数に

岡田早和子 議員

■質問 一年雇用の指導員が多くなると保育の専門性や質に弊害が出て子供たちへの影響が大きくなるので継続雇用にすべきと思うが見解を伺いたい。また、委託事業者選定委員会は保護者を含めて保護者OBや千葉県学童保育連絡協議会などのメンバーを入れ、市側と同数で構成すべきと思うが当局の見解を伺いたい。

■答弁 指導員については、野田市行政改革大綱に定める臨時職員の雇用の適正化を進めるため、継続雇用の指導員は増員できない。また、委託事業者選定委員会は、説明会における保護者の意見を募集要項や業務仕様書に反映することの適否を慎重に審議し、保護者にも経過を報告することとしており、選定委員は市職員七名、保護者二名を基本にしている。学童保育所の民間委託については保護者の基本的な理解を得ることとしており、尾崎学童保育所の選定委員会では保護者四名にするなど真摯な姿勢で取り組んでいる。

利根運河の通水 国土施策創発調査での構想は

長南博邦 議員

■質問 利根運河への通水は、江戸川増水時の逆流や福田地区の大団地からの生活排水の浄化水を頼りにし

ているのでは心もとない。しかも団地の公共下水道への接続は時間の問題であり、利根運河エコパーク構想も台なしになるのではないかと危惧する。そこで、国土施策創発調査では、通水についてどのように構想し、具体化されようとしているのか伺いたい。

■答弁 国土施策創発調査では、利根川から常時毎秒一トン程度の導水を行い、流域三市の公共下水道整備による汚濁負荷量の低減策との相乗効果により環境基準の達成を目指すことが提案されている。しかしながら、毎秒一トンの水を入れると運河の底にたまった汚泥



利根運河

一般質問

小俣 文宣
議員

のだ教育の日制定 考え方と事業内容は

である。こうした中制定されたのだ教育の日では、どのような事業展開を図るのか伺いたい。また、この取り組みに対する基本的な考え方についても伺いたい。

□答弁 教育環境整備をさらに推進するためには、学校、家庭、地域、行政が一体となり、連携を図ることが重要であることから市民全体で教育を考える契機とするために十一月の第一土曜日をのだ教育の日と制定した。事業内容は、従前から実施していた教育委員会表彰や教育実践交流会に加えて、本年は記念講演会の実施を予定している。また、のだ教育の日の前後一カ月

をのだ教育推進期間と位置づけ、学校では、授業の公開、文化行事、いじめ解消のための教育相談を、地域では、体育行事、イベントを、行政では、市内音楽会等を開催し、市民全体で野田市の教育について考えていけるよう積極的に取り組んでいきたい。

■質問 今、教育については、さまざまな立場から議論が起っており、その多くが現状を憂えているもの

■質問 今上木野崎線と国道十六号線の交差点の右折車線については、国道には右折車線が設けられているが、今上木野崎線には設けられていない。朝夕のラッシュ時には交差点を先頭に二、三百メートルの渋滞が発生している。そこで、今上木野崎線の右折車線の設置について伺いたい。

□答弁 今上木野崎線と国道十六号線との交差点の四方向の右折車線については、



教育実践交流会（昨年実施）

今上木野崎線の国道交差点 右折車線の設置は

生美 議員
齊藤 登

県事業で進められている国道十六号線の南部工業団地入り口交差点から県道松戸

行われると考えている。昨年度は、千葉県大規模公共事業等事前評価制度の観点

野田線の聖華幼稚園前交差点に至る都市計画道路の事業の進捗にあわせて整備が

から本事業の経済的、社会的効果や環境に与える影響等について鉄道立体交差方式検討調査が行われた。本年度は、大規模公共事業等事前評価の資料を作成する予定と伺っている。今後は、大規模公共事業等事前評価委員会の手続きを経て事業認可を取得し、事業に着手する予定と伺っている。



今上木野崎線（国道16号線交差点）

関宿ふれあい広場に トイレの増設を

子 議員
木村 たか

■質問 関宿ふれあい広場には、野球場が二面、サッカー場が一面あり、少年野球など盛んに行われているが、利用状況についてお聞きしたい。また、少年野球などには保護者を含め多くの方が来られているため、仮設のトイレ一基だけでは利用者にとって不便をかけていると思うが、市の対応をお聞きしたい。

□答弁 関宿ふれあい広場の平成十八年度の利用状況は、野球場については少年野球並びにグラウンド・ゴ

ルフに利用されており、二一五件、七四八六人の方に利用されている。サッカー場については、四十五件、二〇八人の方に利用されている。また、関宿ふれあい広場のトイレについては、通常の利用では一基で十分であると考えているが、多くの方の利用が見込まれる大会開催時には不便を来していると思われるので、今後は、どのような大会が行われているかなどを精査し、検討していきたいと考えている。

市民の生命と財産を守る 消防団員の確保を

船橋

議員 繁雄

■質問 消防団員は、日夜、市民の生命と財産を守るべく活動を続けている。そこで、今後、消防組織の

構成及び団員数の変更は考えているのかお尋ねしたい。また、消防団員の確保が難しい中、団員に対しては、どのような指導を行っているのか伺いたい。さらに、器具、施設の改善についても伺いたい。

□答弁 現在の消防団の体制は、四方面隊三十七分団十九部で消防ポンプ自動車十三台、小型動力ポンプ付積載車四十三台の合計五十六台を配備し、団員定数八六〇名となっており、適正な規模であると考えている。また、消防団員の確保については、広報誌や講演会、講習会等を通じて機会あるごとに消防団業務の重要



消防団器具置き場（第9分団）

性や活動内容のPRを図り、消防団員の確保に努めていきたいと考えている。器具、施設の改善については、器具置き場など老朽化の著しい建物から建てかえを計画しているが、NOx・PM法の関係から消防車両を優先して整備していきたいと考えている。

■質問 市の側溝汚泥不法投棄問題は、三十九年間もの長い間、産業廃棄物と知らずに不法処理していた結果、市民から指摘され発覚したという不祥事である。新聞報道には経過と謝罪に關して土木部の話しかなかったが、市全体の不法投棄を監視する責任者である環境部は土木部が行った不法処理を知らなかったのか、それとも土木部と同じ認識でいたのか伺いたい。

□答弁 従来、河川等のしゅんせつに伴って生ずる土

側溝汚泥の不法投棄 市環境部の認識は

中井 洋議員

砂その他これに類するものは廃棄物処理法の対象となる廃棄物から除外されるという解釈があった。平成十八年に県から一部市町村において道路側溝等の清掃業務の委託に当たり産業廃棄物の不適正処理の事例が見受けられるとの通知があったが、確認しないまま従来までの解釈として来てしまった。環境部でも市役所の仕事全体をもう少し真剣な目で注意していれば違反の事実が土木部に伝わったのではないかと考えている。



古布内保育所

■質問 古布内保育所は、来年四月から指定管理者制度が導入されるが、導入に当たっては、保護者の理解や合意が必要である。昨年十二月の説明会では保護者一〇人中わずか三十人の参加と報告されているが、その後の説明会の開催時期と、参加状況についてお聞きしたい。

□答弁 古布内保育所の指定管理者の導入については、昨年十二月十五日に保護者説明会を開催し、基本的な了承をいただき、今年の三月定例会で関係条例を

古布内保育所の指定管理 説明会の開催状況は

千久田 祐議員

改正した。その後、新しい保護者を含め五月十日に説明会を開催し、保護者代表の選定委員二名を選出しいただいた。説明会の出席者数は二十名前後と少ない状

況ではあるが保護者全員に資料を配付するとともに指定管理者の選定基準に係るアンケートを実施し、十分な周知を図っている。現在は指定管理者選定に向けて作業を進めており、アンケートで意見の多かった衛生管理等を重視する内容で選定基準を決定し、六月十五日から募集を行っている。

請願・陳情の案内/一般質問

請願・陳情をされる方へ

皆さんの意見や要望を市政に反映させる方法として、請願や陳情があります。

提出にあたっては次のことにご注意ください。

□受付は随時行っていますが、審査は定例会開催月の前月末日（前月末日が休日の場合はその翌日）までに提出されたものについて行います。例えば、9月定例会の場合、8月31日までに提出されたものが審査されることになります。その後に提出されたものは、次回の定例会で審査されることになります。

□請願書・陳情書には趣旨と項目、提出年月日、住所、氏名（団体の場合は名称と代表者名）を記載し、押印したものを市議会議長あてに提出してください。請願書には紹介議員の署名が必要となります。

なお、提出に際しては、事前に議会事務局までお問い合わせください。

【問合せ先】 04-7125-1111（内線3979）

〇〇〇に関する請願書（陳情書）

書式例

紹介議員 〇〇〇〇（陳情は不要）

請願（陳情）趣旨

請願（陳情）項目

平成〇〇年〇月〇日

野田市議会議長 〇〇〇〇様

請願（陳情）者

住所 〇〇〇〇〇〇〇〇

氏名 〇〇〇〇印

■質問 指定ごみ袋については、取り扱う事業所等が多いので、仕事帰りに交換・購入する市民も多いと聞いているが、粗大ごみ処理券については、市役所の清掃計画課など公共施設の一部でしか販売されておらず仕事帰りに購入することができないと聞いている。粗大ごみ処理券も指定ごみ袋の

□答弁 指定ごみ袋取扱店は、市内の各商店やコンビニエンスストアなど二四

館、関宿支所、清掃第一課、関宿クリーンセンターの合計十八カ所で販売している。

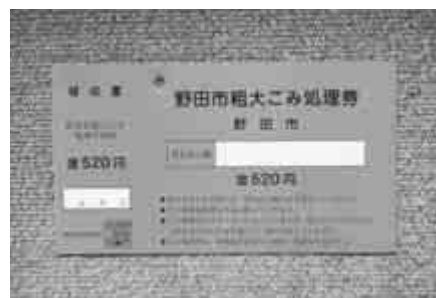
粗大ごみ処理券 民間事業所等で販売を

内田 陽一 議員

ように多くの事業所等で取り扱っていただきたいと考えるが、見解を伺いたい。

店舗あるが、粗大ごみ処理券は市役所清掃計画課、南・北・中央の各出張所、各公民

粗大ごみ処理券の販売については、粗大ごみ回収の申し込みの際に高齢者世帯や共働き世帯の方から休日や夜間、自宅から近いところでの販売を求める要望があることから、今年度予算措置の上、年度内実施に向けて販売店を公募し、要望にこたえていきたいと考えている。



粗大ごみ処理券